

# 談話会のお知らせ

## 講 師

創価大学理工学部情報システム工学科  
教授 北野 晃朗 先生

## タイトル

「平坦円周束のオイラー類とその幕について」

**概要:** 円周の滑らかな微分同相写像全体がなす群の群コホモロジーは、円周をファイバーとする平坦バンドルの特性類を与えます。その代表的なものが オイラー類です。無限回微分可能な場合には、平坦円周束のオイラー類が非自明であることを示したMilnor の古典的定理(1950年代)が知られており、さらにそのすべての幕が非自明であることは1980 年代に森田により証明され、その後いくつかの別証明も得られています。

一方で、微分可能性を実解析的な場合に制限したとき、オイラー類の幕が非自明であるかどうかは未解決問題として残されています。

本談話会では、円周束のオイラー類の非自明性に関する歴史的背景を概観するとともに、最近の 森田茂之氏・三松佳彦氏との共同研究について紹介したいと思います。

## 日時

令和8年1月29日(木)  
16:30 ~ 17:30

## 場所

理A408室